　(第2号議案資料)

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　特定非営利活動法人杜の家

１　事業実施の方針

(就労継続支援A型事業)　杜の家ファーム

・一般就労や定年を迎えるなどして利用者が減少していますので、20名を目標とします。

・新型コロナウイルスも緩和され5類以降となりましたが気を抜くことなく、作業者の検温による体調管理とアルコール消毒はウイルスを持ち込まない対策として継続していきます。

・おおもり農園からの苺委託業務を例年通り行っていきます。本年度おおもり農園が25Rの土地を購入したため、野菜の栽培などさらなる生産作業量の向上を目指します。

・作業者の時間が空かないように、引き続き封入や手帳の作成などの内職作業を行っていきます。また、新しく一般企業からの段ボール組み立ての受託作業も増やしていきます。晴れの国との連携を取りながら、さらなる収益拡大を目指します。

(就労継続支援B型事業)　晴れの国

・月平均利用者数は１５人程度となり、過去最大の人数となりました。既存利用者の利用日も増えており、定着率も高い状態です。

・仕事内容については現在の事業所内での軽作業を中心に行いました。また自主事業として、ホビー関係の製造販売を行っています。内職作業の仕事量には波があるため、自主事業を増やすよう検討を続けてきました。現在は誰でも出来る組み立て作業と発送作業を中心に自主事業を行っています。

（放課後等デイサービス事業）りゅうそう放課後ラボ

・月平均利用者数8人/日を目標としたものの、年間では7.0人/日と低迷しました。新規利用者獲得の営業が出来ていなかったことが原因で、下半期の12～3月には8.0人/日まで回復しました。

・年度末年始に社員4人が新型コロナウイルスに感染したため、開所予定日3日を含む1月の第1週目を閉所としました。これにより1月の月額売上が落ち込んでいますが、利用者から感染の報告はなく影響を最小限に抑えることが出来ています。

・コロナ渦で外部の施設でのイベントを一切行いませんでしたが、事業所内での季節イベントやボードゲーム等遊びの種類を増やすことで、利用者からは満足いただけました。

・また当法人敷地内にある大森農園のビニールハウスでいちご狩り体験を行い、お子様には特に好評でした。

（計画相談支援・障害児相談支援事業）ひとむすび

・4名の利用者に引き続き利用希望の方が増え、現在は親御さんからの依頼や、他事業所からの依頼により児童７名大人３名の１０名になり個々の対応に応じて支援しています。

・今後も利用希望があった場合には対応を行う予定ですが、利用人数は少人数で対応する予定です。

２　事業の実施に関する事項

　（１）特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 定款の事業名 | 事 業 内 容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の  人数 | 受益対象者  の範囲及び  人数 | 支出額（千円） |
| 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業 | 杜の家ファーム事業(就労支援A型事業による野菜・いちごの生産販売) | 通年 | 事業所内 | 5名 | 利用者  20名 | 37,447千円 |
| 晴れの国(就労継続支援B型事業所) | 通年 | 事業所内 | 5名 | 利用者  20名 | 20,944,千円 |
| 児童福祉法に基づく児童福祉サービス事業 | りゅうそう放課後ラボ(放課後等デイサービス) | 通年 | 事業所内 | 9名 | 利用者  10名 | 16,406千円 |
| 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業 | ひとむすび(障害児相談支援事業) | 通年 | 事業所内 | 1名 | 利用者  10名 | 34千円 |
| 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業 | ひとむすび(一般相談支援事業) | 通年 | 事業所内 | 1名 | 利用者  10名 | 33千円 |
|  | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業 | ひとむすび(特定相談支援事業) | 通年 | 事業所内 | 1名 | 利用者  10名 | 33千円 |

（２）その他の事業

なし